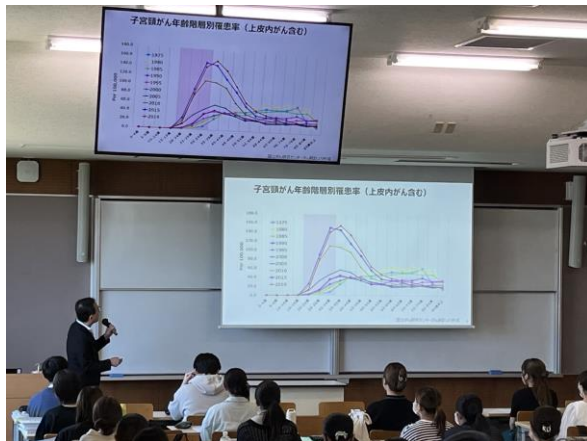


子宮頸がん予防接種（HPVワクチン）に関する講演がありました

5月29日（水）鹿児島県医師会・鹿児島県小児科医会が主催する子宮頸がん予防接種啓発活動の一環として、鹿児島県小児科医会会長の湯浅由啓先生と鹿児島県医師会の方が看護学部に来校してくださり、看護学部の2年生に対してご講演をしてくださいました。



子宮頸がんの罹患層が若年化していることに加え、ワクチン以外に有効な予防方法がないタイプ（腺がん）の子宮頸がんの増加もあるとのことで、学生、教員共々子宮頸がんワクチン接種の意義をあらためて考える機会となりました。

講演には、テレビや新聞といったマスコミの方も多く来られており、学生も記者からの質問を受け、講演を聞いた感想をしっかりと答えていました。



今回の講演で得た知識を、自分自身の健康に活かすだけでなく、周囲の大切な人や社会においても発信して行ってほしいです。